



# 春日井ロータリークラブ 2011～2012年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

## 仲間を増やし、 思いやりの心を育もう

会長：風岡 保広 例会日：金曜日 12:30～13:30  
副会長：清水 勲 例会場：ホテルプラザ勝川  
幹事：北 健司 事務局：春日井市鳥居松町 5-45  
会報委員長：志水ひろみ TEL:(0568)81-8498 FAX:(0568)82-0265  
E-mail : ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp



東京都議会議長賞

東京朝顔研究会

### 本日のプログラム

- 司会 加藤久仁明君  
風岡 保広君
- ・点 鐘
  - ・ROTARY SONG 「日も風も星も」
  - ・今月の歌 「茶摘」
  - ・ビジター紹介 風岡 保広君
  - ・食事・歓談
  - ・委員会報告
  - ・祝 福
  - ・卓 話 小島 啓治君 高橋 理江君
  - ・幹事報告 北 健司君
  - ・点 鐘 風岡 保広君

### 今月の歌

茶摘  
夏も近づく 八十八夜  
野にも山にも 若葉が茂る  
あれに見えるは 茶摘じゃないか  
あかねだすきに 菅の傘

### 今月の祝福

#### 会員誕生日

4日 成瀬 浩康君 21日 太田 弘道君

#### 夫人誕生日

4日 屋嘉比良夫君・しげ子さん  
13日 林 憲正君・ミツさん  
22日 小島 啓治君・富子さん

#### 結婚記念日

13日 杉山 孝明君 26日 加藤 宗生君  
29日 高橋 理江君

2012年5月18日(金)第2092回(5月第2例会)

### アテンダンス表彰

43ヶ年 磯野 俊雄君  
3ヶ年 中川 健君  
2ヶ年 菅原 幹夫君  
1ヶ年 成瀬 浩康君

### 先週の記録

#### 会長挨拶

会長 風岡 保広君

本年度も、いよいよ終盤にはいってまいりました。この5月は、環境保全週間ということで、5月30日から6月4日にかけて実施をされます。春日井クラブも5月の第3例会はロータリーの森で例会を開催いたしますが、一つ多くの皆さんの参加をお願いいたします。

本年度の重点目標の1つでありました、定款・規約・細則の見直しと整備についてということで、クラブ奉仕委員会の山田委員長の方で、委員会事業としてまとめをしていただきまして、今日の理事会へ、協議事項として提言をしていただきました。概略をかいつまんでお話いたしますと、全てのロータリークラブは、「標準ロータリークラブ定款」に従って組織され、ロータリーの規定審査会のみがこの「標準ロータリークラブ定款」を改定できるということで、規定審査会直後の7月1日に各クラブは、その改正を自動的に採択することになります。従って、現在19条まであります標準ロータリークラブ定款は、そのまま春日井ロータリーの「定款」となり、変わるのは第2条の名称だけということになります。

そこで、今回委員会として、提言したいことは、所在地域について、「春日井市全域から名鉄小牧線以西を除く区域」という文言は実情に合わないため、「おおむね春日井市を中心にした区域」とい

### 出席奨励月間

例会予定	5月25日(金)	6月1日(金)	6月8日(金)	6月15日(金)
	ロータリーの森例会 12:30～雨天の 時は商工会議所	理事役員会 11:30～ 卓話ホテルプラザ勝川 大鹿 裕司氏	祝福 卓話 大橋 完一君 卓話 中川 健君	卓話

ホームページ：<http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail：[ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp](mailto:ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp)

うふうに改正したらどうかという提言でございます。

又、「ロータリー細則」についても定款と同様で、クラブ計画書には第1条・第4条・第5条だけが掲載されておりますが、4条を5条に又、5条を6条に変更すればいいということでございます。

標準細則には幹事・役員・会員数などが空欄になっておりますが、各クラブの実情に合わせて記入すればいいとのことですが、計画書には記載いたしませんので期中に改正することは可能だということです。

以上が、山田委員長の提言の概略でございます。

**幹事報告 幹事 北 健司君**

第11回理事役員会報告

4月一般会計の件 可決承認

春日井市民納涼まつり協賛の件 可決承認

本年度6月 IDM開催の件 可決承認

6月から服装はクールビズ。

**例会変更のお知らせ**

名古屋千種 RC	5月22日(火) 5月22日(火) 家族会の為 吉兆
尾張中央 RC	5月30日(水) 5月27日(日) ゴミ0運動の為北名古屋市内
岡崎南 RC	5月29日(火) 5月29日(火) 12:30 交流例会の為岡崎コンファレスセンター
あま RC	5月21日(月) 5月21日(月) 夜間例会の為
愛知長久手 RC	5月29日(火) 5月29日(火) 例会場都合の為 長久手温泉
犬山 RC	5月29日(火) 5月29日(火) 職場例会の為ヤマザキマザック
岩倉 RC	5月29日(火) 5月27日(日) 8:00 アダプト例会の為 五条川
名古屋城北 RC	5月29日(火) 5月29日(火) 夜間例会の為 栄東急イン
名古屋葵 RC	5月31日(木) 5月31日(木) 移動例会の為

**出席報告 委員長 蓮野 美廣君**

会員 52名	欠席 17名	出席率 79.5%
先々週の修正出席	欠席 2名	出席率 96.2%

**ニコボックス報告 委員長 中川 健君**

一寸良い事が有りました。 山口 由起君  
本日は伊藤敬消防長様ありがとうございます。  
太田 弘道君

春日井消防長の卓話を拝聴させていただきます。

風岡 保広君

いつもホテルご利用ありがとうございます。

早川 八郎君

春日井消防長の卓話が聞ける喜びで。

足立 治夫君	浅井 瀧治君	長谷川英輝君
蓮野 美廣君	林 鑛三君	林 憲正君
林 徹君	磯野 俊雄君	伊藤 一裕君
亀谷 鉦一君	加藤久仁明君	加藤 茂君
名畑 豊君	中川 健君	成瀬 浩康君
大畑 一久君	志水ひろみ君	清水 勲君
社本 太郎君	高橋 理江君	宅間 秀順君
峠 テル子君	塚本 兼光君	屋嘉比良夫君

**卓話 春日井消防長 伊藤 敬氏**

皆さん こんにちは春日井市消防長の伊藤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

ただいま、春日井ロータリークラブの皆さまから、私も消防職員に対し、このような表彰をしていただき大変ありがとうございました。

また、日頃から本市の消防行政に対しまして格別なご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

昨年もこのような機会をいただきました。せっかくですので、消防のPRさせていただきたいと思っております。年度初めでございますので、昨年の火災・救急の現状についてお話をさせていただきます。

平成23年中は、火災・救急ともに増加し、火災が114件、救急出場件数は12,848件、搬送人員は11,995人でした。

特に、救急出場につきましては、救急出場件数・搬送人員ともに昭和35年救急業務開始以降最多となりました。これは1日平均35件出場し、おおむね市民26人に一人が搬送されたこととなります。

事故種別ごとの出場件数では、急病が8,541件で全体の約66%を占め、次に一般負傷が1,539件、交通事故が1,240件の順になっています。

また、心肺停止傷病者286人のうち196人に対し、救急救命士が除細動、薬剤投与、気道確保などの特定行為を実施した結果、3カ月予後で5人の方の心肺が再開した報告があがっております。

このことは、また後ほどお話をしたいと思っておりますが、その場に居合わせた人、バイスタンダーの協力なくして成し得るものではありません。

傷病程度別では入院加療を必要としない軽症者の搬送人員が7,137人で全体の59%を占め、前年の5,390人と比較して1,747人増加しています。軽症者全てが不適切な利用ではありませんが、救急要請の中には、かすり傷程度の場合や、急を要する病気ではないけど、どこの病院に行けばいいのか分からないような場合など安易な要請の増加が目立っており、このことが出場件数増加の大きな要因にもなっており

ます。  
本来の救急業務に支障をきたしかねない現状でもあります。現在8台の救急車が24時間出場できる態勢で市民の安全・安心を担っています。

今後も引き続き市民の皆さんに救急車の適正利用についてPRして参りたいと思います。

そこで、課題と言いますか、皆さんにご協力をお願いすることになりますが、適切な応急処置のできる市民の育成でございます。

救急隊が現場に到着するまでの間に、その場に居合わせた方(バイスタンダー)による適切な応急処置が実施されれば、大きな救命効果が得られます。このことは改めて言うまでもなく皆さんもご存知のことと思います。

この応急手当実施率の向上を図るため、いざという時に応急処置のできる人づくりの推進のご協力をお願いいたします。

今年度、4月早々に、伊藤市長、近藤、中村両副市長のほか我々消防幹部を前に、「今後1年間の取組」を発表する機会を得ました。

そこの中のテーマの一つに「適切な応急処置のできる市民の育成」を掲げました。

普通救命講習を受けた人の数3,000人が目標でございます。

平成24年度は消防本部主催の救命講習会を、23回計画し、延べ570人を対象に成人を始め、小児、幼児、新生児を対象とした心肺蘇生法や自動体外式除細動器(AED)の使用方法を内容とした約3時間の講習会を開催する予定であります。

皆さんの事業所の中には、AEDをすでに設置してお見えになる事業所もあると思いますが、設置とは別に、救命講習を一度も実施してお見えにならない事業所さんがございましたら、この機会に是非講習会の計画をお願いしたいと思います。グループ、事業所からのご依頼にお応えして指導員を派遣してまいります。

すでに普通救命講習を受講してお見えになる事業所さんにおいても、心肺蘇生法の手順の変更がありましたので、改めて講習を受講していただきますようお願い申し上げます。

また、AEDの設置についても、市産業部企業活動支援課の事業ではありますが、市民が利用できるAEDの設置については企業の地域への貢献を支援する、地域貢献助成事業がございますので、この機会にご検討いただければと思います。

既にあいちAEDマップ掲載施設として登録していただいている事業所もあると思いますが、今後、登録してもよいという事業所がございましたらご連絡いただければと思います。

愛する従業員のためにも、講習会の受講とAEDの設置にご協力をお願いします。

少し本題から離れますが、消防車も救急現場に出動する場合がありますことにご理解をいただきたいと思いま

す。  
これは、消防車、ポンパーの頭文字のPと救急車、アンビュランスの頭文字AからPA連携と言ひまして、消防車と救急車が連携して救急活動を行うこととなります。

具体的な例としましては、119番受信時において重篤であることが推測され、救急隊員のみでは迅速に対応できないような場合、階段、通路の幅が狭く、搬送が困難な場合、交通量の激しい場所等で傷病者や救急隊員の安全を確保する必要がある場合、近くの救急車が出場中で、救急車の到着が遅れると判断されるような場合でございます。ご理解とご協力をお願いいたします。

次に火災予防でございます。

これも「今後1年間の取組」の中で述べたことですが、住宅防火対策の推進でございます。

消防法の改正により一般住宅においても、火災警報器の設置が義務付けられ5年が経過しました。

これは、高齢化、独居化の進行など、社会環境の変化によって住宅火災による死傷者が増加傾向にあることから義務付けられたものでございます。

先ほど、平成23年中の火災件数を申し上げましたが、発生件数の多い種別順でみていくと、建物火災が60件と全体の52.6%を占め、以下枯れ草、ごみなどが燃えたその他の火災が38件、車両火災が15件、林野火災が1件の順となっております。

建物火災60件のうち、住宅火災(一般住宅、共同住宅及び併用住宅)火災は、39件で、建物火災の65%を占めており、建物用途別では、一般住宅が21件と最も多く、次いで共同住宅が13件、併用住宅が5件となっております。

火災による死者数は3人で、いずれの方も一般住宅で亡くなっております。

火災で亡くなった方々を出火原因でみると「たばこ」が2件、「不明火」1件となっており、死亡原因でみると、3人とも一酸化炭素中毒によるものであります。3人とも65歳以上の高齢者で、「一人暮らし」であり、死亡に至った経過でみると、「逃げ遅れ」が2人、「不明火」が1人となっております。

先ほど、死亡原因で3人とも一酸化炭素中毒によるものでしたとお話をしました。

火災というと「やけど」というイメージが強いと思いますが、確かに火災全体で見た場合、一番多い死因はやけどによるものですが、建物火災を対象に見てみると一酸化炭素中毒もしくは窒息で亡くなる方が多いようです。

火を消そうと活動している間に逃げ遅れてしまい、部屋に充満した一酸化炭素を吸い込んで意識がなくなり、倒れたままの姿で発見されるケースが多いです。一酸化炭素は臭いもなく、気付いたときにはすでに手遅れで、体を動かすこともできず、最終的には窒息してしまいます。

火災に限らず、閉め切った部屋の中で石油ファンヒーターなどの暖房器具を使い続けていると、部屋の酸素が減ってしまいます。

結果、暖房器具が不完全燃焼を起こしてしまい、部屋の中にいる人が一酸化炭素中毒で亡くなるようなケースもあります。

ガスや石油の暖房器具を使う場合は、定期的に窓を開けて換気することが非常に重要でございます。

少し、話がそれましたが、初期消火の目安ですが、火が天井に届く前に消火を実施し、それ以上になったら直ぐに避難し、119番通報していただきたいと思えます。

先ほどの3人の焼死者の出た火災の原因調査結果では、住宅用火災警報器の設置の有無が確認できていない状況ではありますが、設置されていれば早期発見、早期避難が可能となり犠牲者を出すまでには至らなかったと考えております。

住宅用火災警報器の設置率は、現在63.8%です。社会福祉協議会が行っている支援制度の活用や販売店が行う取り付けなどを、活用していただくなど、早期100%設置をめざし、町内会等が行う消防訓練の機会を通じてPRしてまいります。春日井ロータリークラブの皆様のご協力もお願いします。

いろいろお願い等申し上げました。

今後とも30万8千人有余の市民の皆さんが安全で安心して暮らせるまちを目指し、私ども消防職一同、微力ではございますが、まい進してまいりたいと考えております。

本日は貴重な時間をいただきお話をさせていただきました。

本日ご参会の皆様方のますますのご発展とご活躍をご祈念申し上げまして終わりとさせていただきます。ありがとうございました。



(会長挨拶)



(大船渡ロータリーからの感謝状授与)



(春日井消防署 職員表彰)



(卓話 春日井消防長 伊藤 敬氏)



(幹事報告 副幹事 志水ひろみ君)